

## 2015年8月実施の乞田川の生き物調査・観察会速報

西田一也（東京農工大学非常勤講師）

宮田浩（自然教育研究センター）

大平充（東京農工大学産学官連携研究員）

### 1. 目的

2015年8月30日（日）午前乞田川であい橋～上之根小橋において、市民を対象に1）水生生物と水辺環境への関心や理解の醸成および、2）乞田川に生息する水生生物の把握とその推移の把握を目的に調査・観察会を行った。

### 2. 調査・観察方法

参加者の各グループがおよそ1時間、手網により調査範囲内をランダムに水生生物を採集した。そのうちの1グループ（1班）11人の採集した生物のみ取り分けて、種類別に個体数と、魚類では標準体長を記録した。また、水温、水質、流量を測定した。

### 3. 結果

生き物は下表の7種類が採集された。例年と同様に、クロダハゼ（旧トウヨシノボリ）、モツゴが多く採集された。これら魚類はコンクリート化された河川でも生息可能な生態をもつようである。また、ヤゴなどの水生昆虫が採集されなかったことは、例年に比べて降雨が多いことと関係があるのかもしれない。当日も雨のため、水温21.4℃と低かった。水質は一般的な河川中流域の値を示した。

今回の調査で採集された水生生物と採集個体数

	種類名	1班の 採集個体数	全班の 記録	備考
1	カワムツ	2	○	国内外来種
2	モツゴ	9	○	
3	ドジョウ	1	○	情報不足種（国）
4	クロダハゼ（トウヨシノボリ）	100	○	
5	カワリヌマエビ属	82	○	外来種
6	モクズガニ		○	
7	アメリカザリガニ		○	国外外来種